
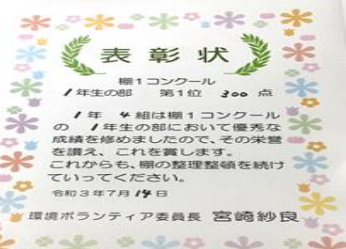


令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

< 合志市立西合志中学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 	<p>SDGsの啓発とともに定期的に環境ボランティア委員会で環境チェック（節電・節水をどれくらい守れているか点検するもの）を行い、環境への意識を高め、環境にやさしい行動が習慣づくように呼びかけた。</p> <p>①歯みがきや手洗いの時に水を出しっ放しにせず、水の消費を抑えます。</p> <p>②掃除の時にバケツを使い、水の消費を抑えます。</p> <p>③電気のスイッチ切り忘れ〇を目指し電気の消費を抑えます。</p> <p>④学級内美化週間（環境チェック、美化コンクール）や花壇の整地、苗植え、夏休みの水やりなどを行います。</p> <p>⑤年一回、校区内の公共施設及び道路等の清掃活動を行い、地域全体の美化に努めます。</p> <p>⑥PTAと協力して、校区全戸から資源物回収を行います。</p>
行動	  	<p>①歯みがきや手洗いの時の水の出しっ放しをなくするため、各クラスで定期的に呼びかけを行った。節水の意識は高まってきたが、個人差があるので、委員会でタブレットを用いて注意喚起CM（動画）を制作している所である。</p> <p>③学校生活において、環境チェック表を用いて各クラスの照明の消灯や掃除時のバケツの使用について定期的にチェックを行い、意識を高めた。</p> <p>④学級内の美化意識を向上させるための美化コンクールや、花壇の整地、苗植え、夏休みの水やりなどに取り組んだ。また、フラワーアレンジメント事業を通して福祉施設に花を贈るボランティア活動を行った。</p> <p>⑤11月に校区内の公共施設及び道路等の清掃活動をNCA（西中校区クリーンアクション）として計画し、全学年が実施した。3年生は地域の老人会と連携し公民館の清掃、花植え、2年生は地域の広場の清掃、1年生は道路沿いのゴミ拾いを行った。この活動を通して、地域とのつながりを深め、地域へのボランティア活動の意識も高まった。</p> <p>⑥例年9月に予定していた全校生徒での資源物回収は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止になったが、アルミ缶に限っては、PTAの協力で設置された体育館横の回収箱を利用して回収を続けている。</p>

<p>記録</p>	 <p>環境ボランティア委員会 環境チェック表</p> <p>神門の時にバランを建てる (木々をバラン分程度) 特設教室の照明の消灯が な-時刻の照明の消灯が いる</p> <p>特設教室の照明の消灯が な-時刻の照明の消灯が いる</p> <p>ごみ箱が汚れている</p> <p>日付</p> <p>○ 実施した ○ 実施した ○ 実施した △ 実施した △ 実施した △ 実施した × 実施した × 実施した × 実施した</p>	<p>環境ボランティア委員会が、各クラスの環境や美化意識を高めるために、環境チェック、美化コンクールを定期的に行ってきた。活動内容の記録は環境ボランティア委員会を中心となってい、各学級の取組状況や取組の集計結果を給食時に放送によって知らせ、表彰も行った。</p>
<p>見直し</p>	 <p>表彰状</p> <p>第1コンクール 1年生の部 第1位 300点</p> <p>1年 4組は第1コンクールの1年生の部において優秀な成績を修めましたので、その栄誉を讃え、これを賞します。これからも、順の整理整頓を続けていってください。</p> <p>令和3年7月19日</p> <p>環境ボランティア委員長 宮崎紗良</p>	<p>環境チェックや美化コンクールを行うことで環境や美化への意識が高まった。改善が進まない項目については、環境ボランティア委員会で要因を分析し、誰もが過ごしやすい教室、心地よい教室づくりに繋げていきたい。また、意識を高める啓発活動を環境ボランティア委員会全体で行うために、動画でのCMづくりなどポスターだけでなく今後ICTを活用していきたい。</p>

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、今年の地域奉仕活動は、それぞれの学年で準備、開会、閉会、かたづけを行った。そのため、各学年の環境ボランティア委員が責任をもってそれぞれの役割を全うすることができた。また、地域へのつながりを深め、地域への愛着を高めることができた。生徒の達成感もあり、有意義な活動になった。継続した活動により道具も充実してきた。 節水、節電の意識は定期的な環境チェックによって高まった。結果のよかったクラスの環境ボランティア委員が一番喜んでおり、より意欲的に活動するようになった。表彰によって行動が褒められ、環境への意識がより高まったことから、どのクラスもやってよかったと思える点検を設定し、意欲を高めたい。 フラワーアレンジメント事業で環境ボランティア委員1人につき2つのフラワーアレンジメントをつくり、福祉施設と学校両方に飾ることができた。花いっぱい環境になり、多くの方が喜ばれていた。また、地域の福祉施設へのボランティア活動ができたことで、ボランティアへの意識も高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と地域の方が一緒になって活動し、地域の絆を深め、地域を大切に守っていこうとする自主性や地域力を高めることを目標にNCAを行っているが、全校一斉で同じ時間に行うと、地域の方と交流できる学年に限られる。また、地域の方も中学生と交流することを楽しみにされているので、時間をずらすことでどの学年も交流ができるので、検討したい。 節水、節電について可視化した方がわかりやすかったが、新型コロナの感染拡大の影響で、活動時間が少なくなり、今年度は呼びかけまでにとどまった。 呼びかけや、掲示物での環境への意識向上にも限界が見られたので、来年度は、環境ボランティア委員会全体で呼びかけCMをつくり、どのクラスも共通した意識をもってもらえるようにしていきたい。 各クラスにフラワーアレンジメントを飾り彩りのある教室になったが、フラワーアレンジメントが長くはもたなかったため、今後はクラスに季節ごとに花の鉢植えを置くなど長く鑑賞できるものを検討していきたい。